

参考資料1
令和7年11月19日(水)開催 令和7年度富山県透析患者等発生予防推進ワーキング グループ資料

# 糖尿病性腎症重症化予防プログラムの 改定について

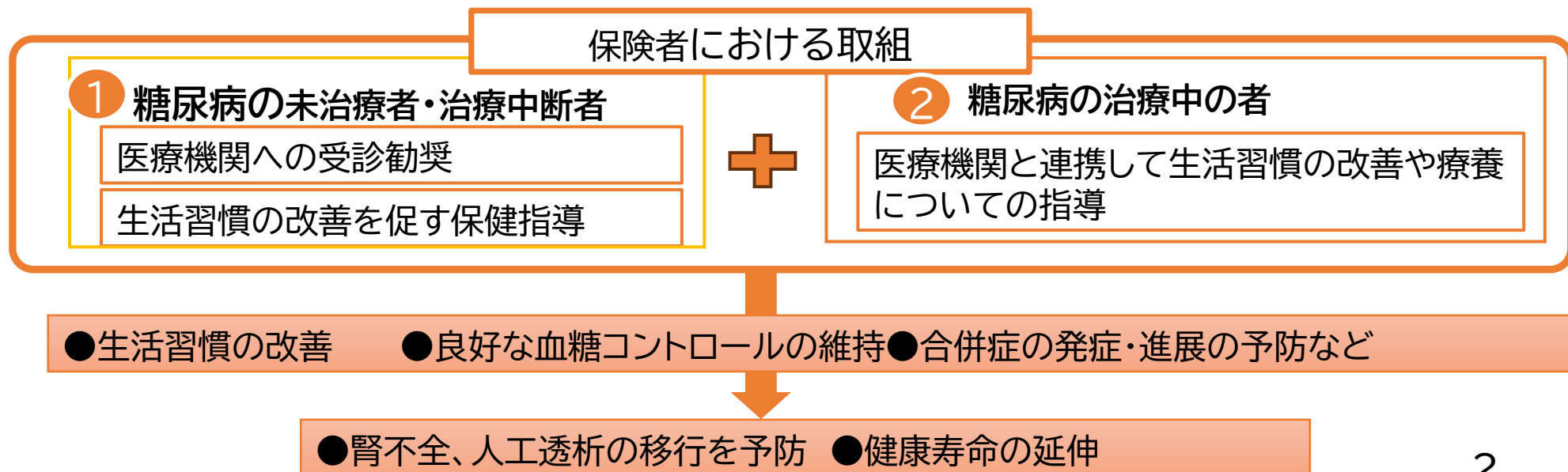
# 富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

○H28年に日本医師会・日本糖尿病対策推進会議・厚生労働省の三者で糖尿病性腎症重症化予防に係る連携協定が締結され、糖尿病性腎症重症化予防プログラムが策定。

○これを受けて「富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定(H29策定、R2改定)  
重症化予防に向けた取組の考え方や標準的な内容を示すとともに、関係機関の連携体制を構築し、市町村国保等の保険者における事業の円滑な推進を支援するもの。

## 【取組内容】

- ①糖尿病が重症化するリスクの高い**未受診者、治療中断者**に対して保険者が医療機関への**受診勧奨**や**保健指導**を行い、継続的な治療につなげる。
- ②**糖尿病性腎症で通院する者**のうち、重症化するリスクの高い者に対して、保険者が**医療機関と連携して保健指導**を行う



# 富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定について

令和6年3月の国プログラム改定を踏まえ、「富山県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を改定する。

## 【国】糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定のポイント

### ①対象者の年齢層(青壮年・高齢者)に応じた取組の推進

⇒ ライフコースアプローチの観点から踏まえたライフステージに応じた取り組みを推進することが重要

### ②関係者(市町村・都道府県・広域連合・地区医師会・国保連等)の連携に向けた役割の提示

⇒ ライフステージに応じた取り組みを推進するため、被用者保険の取組との連携やかかりつけ医療機関等(専門医等)との連携強化、地域で活動する専門職等との情報共有など

### ③対象者の抽出基準と対象者の状態に応じた介入方法の例示

⇒ 介入の優先順位を適切に検討するために、未治療、治療中などの治療状況に応じた対象者の把握方法、健診結果(腎障害、血圧など)を踏まえた対象者の抽出基準と介入方法の一覧表を提示

### ④市町村、都道府県等が設定する評価指標例の提示

⇒ 市町村・都道府県それぞれの評価事項の明示、対象者ごとだけでなく、対象者全体(集団)での評価

## 【県】糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定の方向性

(1) 国プログラム改定内容及び県、市町村国保、後期高齢者医療保険等における糖尿病対策の実態を踏まえた内容に改定し、推奨基準として示す。

(2) 現在の糖尿病重症化予防の取組を基盤とし、さらなる糖尿病対策の充実の推進を図る。



# 【国】糖尿病性腎症重症化予防プログラム改定の概要（平成28年4月20日策定。令和6年3月28日改定）

## ①対象者の年齢層に応じた取組の推進

- ・ライフコースアプローチの観点から、年齢層（若壮年層、高齢者）を考慮した取組を推進
- ・歯周病と血糖コントロールの関係を踏まえ、口腔衛生の指導や歯周病の未治療者に対する継続的な歯科受診を勧奨
- ・糖尿病の合併症の1つである糖尿病網膜症の進行防止の観点から、定期的かつ継続的な眼科受診を勧奨

（参考）  
厚生労働省HPより

## ②関係者の連携に向けた役割の提示

### 【保険者（市町村）】

被保険者は市町村国保と被用者保険の間を異動することや後期高齢者医療制度への異動もあるため、被用者保険と市町村間、広域連合と市町村間等でそれぞれ連携を密にし、保険者間の異動により支援が途切れないようにすることや長期的な視点で評価を行う

### 【都道府県】

取組が十分にできていない市町村等に対して、保健所単位等での事業実施を検討するなど、積極的な支援を実施する

### 【広域連合】

地域の医師会等の関係団体に対して、広域連合が取組内容を説明し、理解及び協力を得ていくことが重要であり、都道府県と連携しながら調整する場合や市町村による調整の支援を行う場合など、状況に応じた調整を行う

### 【地域の医師会等医療関係団体の役割】

かかりつけ医機能を有する医療機関と専門医等との連携強化が重要であるため、地域の医師会等は各医療機関や医師等と連携し必要な取組を行う

糖尿病の合併症として網膜症や歯周病、歯の喪失等があることを踏まえ、医科歯科連携の仕組みを構築し活用する健康サポート薬局、栄養ケア・ステーション、まちなかの保健室等の資源を有効活用した体制整備の検討を行う

### 【国保連合会、国保中央会】

取組状況等から支援の必要性があると考えられるが支援を受けていない市町村に対しても、都道府県と連携して、積極的に支援する

## ③対象者の抽出基準と対象者の状態に応じた介入方法の例示

- ・健康診査の結果の有無、糖尿病についての治療状況別（未治療、治療中）に、それぞれ対象者の把握方法を例示
- ・健康診査の結果がある者については、糖尿病についての治療状況別（未治療、治療中）に、HbA1cの状況、腎障害の程度（eGFRまたは尿蛋白の状況）、血圧の状況（血圧値、治療状況）を踏まえた対象者の抽出基準と対象者の状態に応じた介入方法を例示

## ④市町村、都道府県等が設定する評価指標例の提示

- ・評価では、受診勧奨や保健指導を実施した対象者ごとに行う評価に加えて、対象者全体（集団）での評価も行う。
- ・評価では、ア、被保険者全体、イ、対象者抽出基準該当者、ウ、絞込み該当者、エ、事業参加者、を意識して評価を行う。

### 【未治療者・治療中断者】医療機関への受診勧奨と保健指導

腎障害の程度													腎障害の程度/ 血圧区分 判定不可
以下のどちらかに該当 ・eGFR<45 ・尿蛋白(+)以上			以下のどちらかに該当 ・45≤eGFR<60 ・尿蛋白(±)			以下の両方に該当 ・60≤eGFR ・尿蛋白(-)							
血圧区分			血圧区分			血圧区分							
受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲	受診中	血圧高値 受診なし	正常範囲					
H b A 1 c (%)	8.0以上												
	7.0~7.9												
	6.5~6.9												
	6.5未満												

CKD対策

高血圧受診勧奨

### 【対象者の状態に応じた受診勧奨・保健指導】

レベル	受診勧奨	保健指導
I	通知、健康教室等の案内（面談の機会を設定）	主に糖尿病及び生活習慣の改善に関する内容について通知、健康教室の案内
II	通知・電話/面談	腎障害の悪化を予防するための、糖尿病等生活習慣病の管理に関する内容を中心とし、通知・電話/面談
III	通知・電話/面談/訪問にて確実に実施	腎障害の悪化を防ぐための治療や生活に関する内容を中心とし、通知・電話/面談/訪問を確実に実施

### 【評価対象のとりえ方】



# スケジュール(案)

	ワーキンググループ 透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	事務局
R7年 11月19日	●第1回ワーキンググループの開催 (プログラム改定案の検討)	意見の取りまとめ
12月		・WG意見を踏まえ、関係機 関に改定案の意見照会 ・改定案の修正
R8年 1月	●ワーキンググループ委員への改定案に 関する意見照会	
		・意見をもとに修正
2月～3月	●透析患者等発生予防推進事業連絡協議会 (改定案(最終版)の報告)	
3月		県プログラムの改定
R8年4月		県プログラムの普及